

発行所  
長野県保険医協会  
〒380-0928 長野市若里1-5-26  
電話 026-226-0086  
FAX 026-226-8698  
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp  
年間購読料 3,600円  
会員の購読料は会費に含まれています



2021年(令和3年)10月25日  
No.488 (毎月1回25日発行)  
(1990年6月22日第三種郵便物認可)  
主な記事  
国保料アンケート調査結果、歯の供養祭、  
いい歯と健康のご案内…2面、マイナンバー  
カード受診方法、次期診療報酬改定の動向  
…3面、理事会便り、保険かわら版…4面

## 「感染症対策実施加算」、 次期診療報酬改定について

### 厚労省へ要望書を提出

県保険医協会は10月6日、新たに厚生労働大臣に就任した県選出国議員の後藤茂之厚労相に、診療報酬に係る要望書2通を送付した。

1通は「外来等感染症対策実施加算」、「入院感染症対策実施加算」、「乳幼児感

染予防策加算」の9月末での廃止・点数半減について撤回および継続を求めるもの。これらの加算の代替として、厚労省は申請方式の補助金を予定していることを公表したが、令和2年度の補助金ですら交付予定時期を半年以上

## 10/31 衆院選

### 県内立候補者アンケートを実施

県保険医協会は10月31日に控える衆院選の長野県内の立候補者へ医療政策に関するアンケートを実施した。

長野県では5小選挙区に自民党5名、立憲民主党4名、共産党1名、日本維新の会1名、NHK党1名の12名が立候補した。アンケートは9月1日時点で表明していた11名に対して実施、うち8名から回答を得た。

保険医協会では規約により特定の政党や候補者の推薦はしないが、今回の選挙は新型コロナ対策や高齢者の窓口負担増など重要な医療政策に関する方向性を見定める重要な機会と捉えている。

調査結果は10月上旬に会員へ送付したほか、保険医協会ホームページからも参照できる。残念ながら一部の候補者からは回答を得られなかったが、ぜひ投票の際の参考にしてほしい。

過ぎてなお完了していない現状では愚策としか言いようがない。対象経費も従来と異なり、感染症対策に新たにかかった経費のみとされる方向であるうえ、上限額が病院・有床診10万円、無床診8万円と一律のため、医療機関の規模によっては大きな減額となり、必要経費をカバーできない。

もう1通は、次期改定時に診療報酬の大幅なプラス改定、特に初・再診料は10点以上上げること、またそれにより患者負担が増えないよう窓口負担の軽減を求めるもの。2002年度から直近まで計10回の診療報酬改定のうち8回がマイナス改定であったことや、新型コロナなどの影響で昨年の国民医療費が前年比1.4兆円減だったこと、終息が見えない中で今後も万全な医療提供体制を維持していくためには診療報酬の大幅アップによる医療従事者への正しい評価が必要不可欠だ。

診療報酬アップを求める要望については10月中旬に署名用紙を会員送付しているため、ぜひご協力をお願いします。

## #いのちまもる

### 医療・社会保障を立て直せ！10・14総行動を開催

10月14日、保団連を含む10団体による「#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ！10・14総行動」が日比谷野外音楽堂で開催された。当日はリアルタイムでYouTube配信され、県保険医協会からも宮沢会長を始め4名の役員がモニター越しに応援した。

日本医労連の佐々木さんは開会に伴い「来る総選挙では国「#いのちまもる」を掲げ静かに応援する参加者民一人一人がその人らしく生活するため、医療・介護要員の大幅増員、処遇改善、公衆衛生体制の拡充、患者・利用者の負担増ストップ、地域の福祉施設を守る、医療提供体制を立て直すための診療報酬の大幅な引き上げの声を広げ、国民の命と健康を守る政治に転換させましょう」と呼び掛けた。

トークショーでは落語家の立川談笑さんが講演。「コロナ禍の2年で、さ

ほど興味の無かった我々一般人も医療のことにとても詳しくなりました。布マスクを縫ったり雨合羽を集めていたあの暗闇の中からどうにかここまでたどり着きました。全国の皆様にはこの

場を借りてお礼を申し上げます。この間に心にたくさん傷を負った方もいらっしゃるかと思います。本当の意味での終息にはまだまだ時間がかかると思いますが、少しでも心穏やかに過ごせることを願っております」と医療従事者らに感謝の言葉を述べた。

ビデオメッセージでは全国の医療・介護従事者、保育士から「業務上だけでなくプライベートの行動も制限されるなか何とか精いっぱいやっている」など苦しい現状とそれを変えていきたいという想いが多数寄せられた。当日の様子やメッセージは、YouTube配信とTwitterで見ることができる。



## クイズキャンペーン実施中 11月末まで

県保険医協会が加盟する保団連では、「クイズで考えるわたしたちの医療」キャンペーンを実施中。コロナ禍

で知っておきたい2つの医療問題に関するクイズに答えて応募すると、抽選でカタログギフトやQUOカードなどが当たる。ぜひ待合室などに置いていただき、幅広い県民の皆さまに身近な医療問題について考える機会としてもらいたい。応募締切は11月30日(当日消印有効)。

クイズチラシは送料も含め無料でご注文いただけます。保険医協会事務局(TEL. 026-226-0086)までご連絡ください。左記QRコードからオンライン応募も可能です。



また、75歳以上高齢者の窓口負担2割化の実施をストップさせるための署名活動も新たに開始しました。集まった署名は来年の通常国会で国へ提出予定。高齢者施設などへの協力も依頼していますが、医療機関の待合室からも反対運動への参加をよろしく願っています。

## 鶏声

他院でいじめに遭ったスタッフを今まで何人も採用して、また失敗した。そしていじめに遭ったスタッフの人材像を見るときに3つのポイントがある。◆①ストレス耐性が低いのか? ②仕事能力が低いのか? ③相性の問題だったのか? この3ポイントのどこがその医院に合わなかったのかを考える必要がある。そして、その人材を採用するとき①、②が問題だった場合は不採用にすべき、③だけが問題だった場合には採用の可能性ありと判断。◆10か月前、いじめに遭って退職したスタッフを採用した。採用に当たっては①②③はまだ考えなかった。明らかな性格で「当院の色に染まって勉強しなさい」とやる気を見せてくれたので採用した。当院はマニュアルあり、研修制度は手厚い、人間関係も安定、影口やマインナ言葉は禁止、メンター制度も行っている環境で教育したが、思うように育たない。結果ストレス耐性と仕事能力が当院の求めるレベルでないことが判明。さてここでどうするか? このままでは、いつまでも任せられない仕事が多く、いないよりはいいが、いつになつたら1人分としてカウントできなくなるのか? ◆まずは、当院の求める人材像をはっきり伝えなおして、期限を切つてしっかり仕事の質を高めてもらうことから始めよう。今後への教訓は①②③のポイントを見極め、採用時に期限を切つて求める人材像になつてもらおう努力を約束してもらうことだと今更思う。皆さんに参考になればと思う。(茅野市KO)